

船橋市地球温暖化対策実行計画の施策の進捗状況について

1. 進行管理指標の状況

船橋市地球温暖化対策実行計画の指標について分野別に「暮らし」、「仕事」、「まちづくり」、「適応策」、「ひとづくり」の視点から取りまとめました。

○ 暮らし（主として家庭部門・運輸部門・廃棄物分野に関する取組）の指標

指 標	実績値		評価	目標値 (2030 年度)
	(2018 年度)	(2021 年度)		
エコライフ実践度（アンケート調査による ^{注1} ）（%）	52	57.5	○	70
家庭部門における市民一人当たりの温室効果ガス排出量(t-CO ₂ /年)	1.18	1.11 ^{注2}	○	0.49
家庭部門における一世帯当たりの電力使用量(kWh/年)	3,912	3,757 ^{注2}	○	1,540
家庭部門における一世帯当たりの都市ガス使用量(m ³ /年)	353	308 ^{注2}	×	102
太陽光発電システムの累計設置容量(kW) ^{注3}	53,382	60,540	×	97,250
家庭系可燃ごみ排出量（g/人・日）	539	483	○	440 ^{注4}
リサイクル率(%)	21.3	22.8	○	26 ^{注4}

注1：3年に1回、市民・市内中高生を対象にエコライフ行動に関するアンケート調査を実施して算出します。目標値の70%は市民の配慮行動の実践度として、中期目標の設定に用いています。

注2：2019年度の実績値を用いています。

注3：基準値は資源エネルギー庁 Web サイトの値を引用しています。目標値は現状のペースで導入が進むものと想定して設定しています。

注4：目標値は、船橋市一般廃棄物処理基本計画における2026年度の目標値です。

○ 仕事（主として産業部門・業務その他部門・廃棄物分野に関する取組）の指標

指 標	実績値		評価	目標値 (2030 年度)
	(2018 年度)	(2021 年度)		
エコオフィス実践度（アンケート調査による） ^{注5}	39	46.9	○	70
市の事務事業による温室効果ガス排出量(kg-CO ₂ /年)	142,469	133,721 ^{注6}	○	120,627
太陽光発電システムの累計設置容量【再掲】(kW)	53,382	60,540	×	97,250

注5：3年に1回、事業者を対象にエコオフィス行動に関するアンケート調査を実施して算出します。

目標値の70%は事業者の配慮行動の実践度として、中期目標の設定に用いています。

注6：速報値となります。

○ まちづくり（すべての部門・分野に関連した取組）の指標

指 標	実績値		評価	目標値 (2030 年度)
	(2018 年度)	(2021 年度)		
太陽光発電システムの累計設置容量 【再掲】	53,382	60,540	×	97,250

○ 地球温暖化の影響に対応する適応策の指標

指 標	実績値		評価	目標値 (2030 年度)
	(2018 年度)	(2021 年度)		
樹林地の保全面積 (ha)	194	194	×	236
熱中症予防に関する健康教育の実施回数	300	1 注7	×	315
蚊媒介感染症防止のためのウイルス保有調査によるウイルス保有検体数	0	0	○	0
流域貯留浸透事業に基づき整備した雨水貯留浸透施設の整備率 (%)	57	57	×	67

注7：新型コロナウイルス感染症により、対面での健康教育が実施できなかったが、以下の方法で熱中症予防を実施した。

- ① 幼児健診等で来所した保護者に熱中症予防のちらしを 4,338 枚配布
- ② 地区の担当保健師が社会協議会や自治会に熱中症予防のちらしを 212 枚配布

○ ひとづくりの指標

指 標	実績値		評価	目標値 (2030 年度)
	(2018 年度)	(2021 年度)		
エコオフィス実践度（アンケート調査による）【再掲】	39	46.9	○	70
エコライフ実践度（アンケート調査による）【再掲】	52	57.5	○	70
地球温暖化に関する環境講座実施回数注8	19	10	×	30

注8：地球温暖化防止活動推進員の派遣と、公民館等での温暖化に関する講座の開催を対象とします。

2. 施策の実施状況

表2には個別施策の進捗状況について、施策の柱ごとに示しました。

全119の各課取組のうち、「目標課題を解決」または「順調に進んでいる」と回答されたものは87となりました。一方、32の取組で「遅れがみられる」または「未実施」となりました。なお、「未実施」と回答があった取組についての対応は別紙のとおりです。

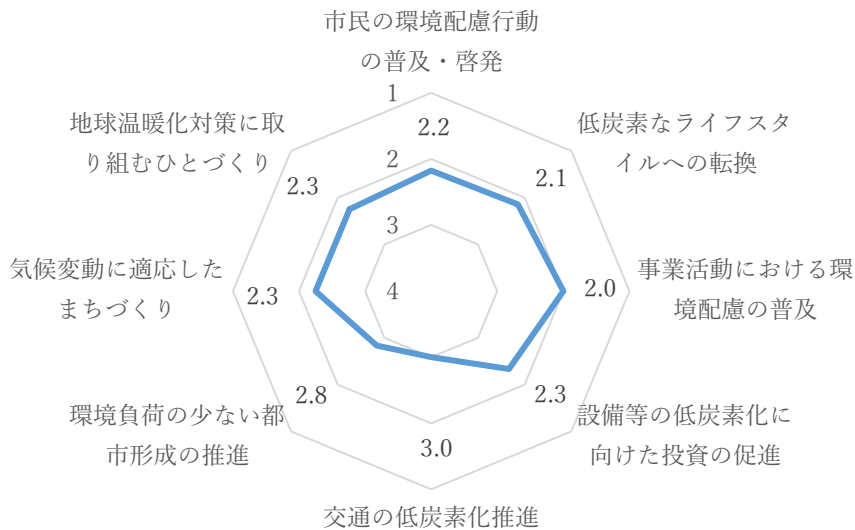
	施策の柱	取組	施策の評価				合計
			目標課題を解決	順調に進んでいる	遅れがみられる	未実施	
			1	2	3	4	
1	市民の環境配慮行動の普及・啓発	エコライフの普及推進	0	8	0	1	9
		ごみ発生量の削減	0	7	1	0	8
			0	15	1	1	17
2	低炭素なライフスタイルへの転換	省エネルギー型機器の普及促進		2	1	0	3
		住宅等への再生可能エネルギー利用設備の設置推進	0	4	0	0	4
			0	6	1	0	7
3	事業活動における環境配慮の普及	エコオフィス行動の普及促進	1	5	0	0	6
		事業系廃棄物の発生抑制	0	7	1	0	8
			1	12	1	0	14
4	設備等の低炭素化に向けた投資の促進	建物等の省エネルギー対策の促進	0	1	2	1	4
		再生可能エネルギーの利活用	2	4	2	0	8
			2	5	4	1	12
5	交通の低炭素化推進	自動車交通需要の抑制	0	2	3	1	6
		次世代自動車の普及促進	0	0	2	1	3
			0	2	5	2	9
6	環境負荷の少ない都市形成の推進	緑の保全・緑化の推進	0	7	0	2	9
		都市機能施設の集約の促進	0	0	0	3	3
			0	6	0	6	12
7	気候変動に適應したまちづくり	災害リスクへの対応	1	9	0	2	12
		健康リスクへの対応	1	2	1	1	5
		自然生態系リスクへの対応	0	5	2	0	7
		農林水産業リスクへの対応	0	4	0	0	4
			2	20	3	3	28

8	地球温暖化対策に取り組む ひとづくり	環境・エネルギー学習の推進	1	8	4	0	13
		地球温暖化防止活動の啓発・支援	0	6	0	1	7
			1	13	4	1	19
	合計		6	79	19	14	118

※取組の総数は 102 だが、複数課が実施するものもあるため 118 の取り組みとなった。

3. 船橋市地球温暖化対策実行計画の進捗状況の総合評価

進捗状況を総合的に検討するために施策の柱ごとの評価値の平均を以下のとおり示しました。この図は中心に近いほど遅れていることを示します。



公共工事のような大きな予算や計画の策定が必要となる「交通の低炭素化推進」や「環境負荷の少ない都市形成の推進」については他の施策に比べて遅れが見られ今後の課題になると考えられます。